



公益財団法人国際エメックスセンター / International EMECS Center

エメックス国際セミナー

EMECS10からEMECS11へ

- 統合的沿岸域管理の新たな展開 -

EMECS International Seminar

Towards EMECS11

- **Future Direction of ICM** -

日 時：平成 26 年 2 月 28 日(金) 午後1時 30 分～午後 4 時 30 分

会 場：ラッセホール 2 階 ルージュローズ (神戸市中央区中山手通)

主 催：公益財団法人国際エメックスセンター

後 援：兵庫県、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、公益社団法人瀬戸内海環境保全協会、NPO 法人瀬戸内海研究会議、兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会、公益財団法人ひょうご環境創造協会、兵庫県環境保全管理者協会、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)、公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

Date/Time: February 28, 2014 / 13:30 – 16:30

Venue: Rouge Rose, Lasse Hall (Nakayamate-dori, Chuo-ku, Kobe)

Organizer: International EMECS Center

Supporters: Hyogo Prefectural Government, Governors and Mayor's Conference on the Environmental Protection of the Seto Inland Sea, The Association for the Environmental Conservation of The Seto Inland Sea, The Research Institute for the Seto Inland Sea, Hyogo Convention for the Environmental Conservation of the Seto Inland Sea, Hyogo Environmental Advancement Association, Hyogo Prefecture Association for Corporate Environmental Conservation, The Asia-Pacific Network for Global Change Research, The Institute for Global Environmental Strategies

プログラム / Program

13:30-13:40 主催者挨拶 / Opening Address

園田 竹雪 公益財団法人国際エメックスセンター専務理事
Mr. Takeyuki Sonoda, Executive Director of International EMECS Center

座長：渡邊 正孝 慶應義塾大学大学院特任教授
(国際エメックスセンター科学・政策委員会委員長)

Moderator : Prof. Masataka Watanabe, Project Professor, Graduate School of Media and Governance, Keio University

13:40-14:10 講演1 <Lecture 1>

テーマ：「EMECS10-MEDCOAST2013 ジョイント会議成果報告」

講師：エルダール・オザーン MEDCOAST 財団会長 (トルコ)

(国際エメックスセンター科学・政策委員会副委員長)

Theme: “Report of EMECS10-MEDCOAST2013 Joint Conference”

Lecturer: Prof. Erdal Özhan, President, Mediterranean Coastal Foundation(MEDCOAST)
Turkey

14:10-14:40 講演2 <Lecture 2>

テーマ：「気候変動と統合的沿岸域管理」

講師：渡邊 正孝 慶應義塾大学大学院特任教授

Theme: “Climate Change and ICM”

Lecturer : Prof. Masataka Watanabe, Project Professor, Graduate School of Media and Governance, Keio University

14:40-14:50 休憩 / Short Break

14:50-15:30 講演3 <Lecture 3> ロシアにおける海域環境

テーマ1：「東フィンランド湾：管理のための概念、法、そしてツール」

講師：ジョージ・ゴゴベリゼ ロシア国立水文気象大学副学長

Theme 1: Eastern Gulf of Finland: concept, legislation and tools for management

Lecturer: George Gogoberidze, Vice-Rector of Russian Hydrometeorological University

テーマ2：「東フィンランド湾(バルト海)の海洋地質-堆積過程、人為的影響、汚染の歴史」

講師：ダリア・リャブチュク A. P. カルピンスキーロシア地質調査研究所主任研究員

Theme 2: “Marine geology of the Eastern Gulf of Finland (Baltic Sea)

- sedimentation processes, anthropogenic impact, pollution history”

Lecturer: Daria Ryabchuk, Leading scientist of A.P. Karpinsky Geological Research
Institute

15:30-16:10 講演4 <Lecture 4>

テーマ：「環境および健康アセスメントータイ国憲法に明言されている環境と健康保護のツール」

講師：ピアムサク・メナサウエイド タイ独立環境・健康保護委員会委員長、チュラロンコン大学教授(国際エメックスセンター科学・政策委員)

Theme: “Environment and Health Impact Assessment: a tool for Environmental and Health Protection as Stated in Thailand Constitution”

Lecturer: Prof. Piamsak Menasveta, Chair of Independent Commission on Environment and Health (ICEH) Bangkok, Thailand, Professor of Chulalongkorn University

16:10-16:30 質疑応答とまとめ / Q&A and Summary

プロフィール / PROFILE

渡邊 正孝 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 < Prof. Masataka Watanabe >

京都大学工学部卒業。同大学院修士課程修了後マサチューセッツ工科大学 (MIT)にて博士号取得。その後 MIT 研究員、国際応用システム解析研究所研究員、国立環境研究所水士壌圏環境研究領域長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授、慶應義塾大学環境情報学部教授を歴任。2010年より現職。

現在国連大学客員教授、中国科学院地理科学与環境資源研究所客員教授を併任。2009年より EMECS 科学政策委員会委員長、2010年より UNEP アジア太平洋適応ネットワーク議長に就任。

専門は数理生態学、環境資源管理政策、持続可能科学。



エルダール・オザン MEDCOAST財団会長、ムーラ大学教授 (トルコ) < Prof. Erdal Özhan >

1970年 中東工科大学卒業

1975年 アジア科学技術大学海岸土木工学部にて博士号取得

1989年 中東工科大学土木工学部教授

1990年 MEDCOAST 会長

1993年 トルコ沿岸域管理委員会委員長

1993年 トルコ沿岸・港湾土木学研究所所長

1997年 米国団体から海洋保護への貢献に対して Pew Fellows 賞を受賞

2006年 トルコ・ムーラ大学工学部長・教授

2008年 中東工科大学沿岸工学管理学部名誉教授

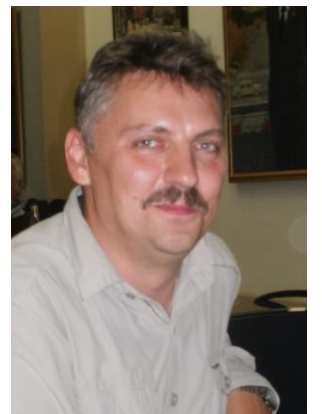


ジョージ・ゴゴベリゼ ロシア国立水文気象大学副学長 (ロシア) < Dr. George Gogoberidze >

1993年ロシア国立水文気象大学にて海洋学修士、1996年博士号取得。2002年サンクトペテルブルク大学にて経済学修士を取得。1993年以降ロシア国立水文気象大学講師、助教授、主任科学研究員を経て、2012年より現職。

主な研究分野は沿岸域資源利用と開発プランニング・生態安全・人為的負荷の包括的見地、沿岸域の海洋経済可能性とその評価指針、沿岸域開発戦略、沿岸・海洋空間プランニング、沿岸域における地籍図・法・行政規則、他。

主な参加プロジェクト：ロシアの沿岸海域・内海モニタリングのための情報システムテクノロジーの開発 (2011-2012)、黒海沿岸域の地生態リスク管理のための理論とテクノロジー開発 (2010-2011) 他多数



ダリア・リャブチュク A.P.カルピンスキーロシア地質調査研究所主任研究員（ロシア）

<Dr. Daria Ryabchuk>

1990年 レニングラード大学（現サンクトペテルブルク大学）卒業。
1989年以降、A.P.カルピンスキーロシア地質研究所研究員を経て、2008年より現職。2002年博士号取得。

専門は堆積学、環境地質学、地生態学、沿岸域地質学。

多年に渡り19の国家プロジェクト（バルト海、東フィンランド湾、ラドガ湖、ネヴァ川等の地質測量や調査、沿岸域保全、地生態マッピング、海洋・環境地質学等）に参加し、うち8プロジェクトにはプロジェクトリーダーとして参加。

主な参加プロジェクト：バルト海・バレンツ海・白海の沿岸帯地質環境モニタリング（2012-2014）、フィンランド湾形成計画と保全のためのツール（2012-2014）、他多数。



ピアムサック・メナサウエイド

タイ国独立環境・健康保護委員会委員長、チュラロンコン
大学教授（タイ）

<Prof. Piamsak Menasveta>

1972年ワシントン大学（米国）修士（水産学）、1974年博士号（水産学）取得。

専門は海洋科学、水産養殖、海洋バイオテクノロジー。

1986年～2004年チュラロンコン大学－国立遺伝子工学・生物工学研究所共同
事業「海洋生物工学研究ユニット」ユニット長

1992年～2000年チュラロンコン大学水資源省研究所長

2002年～2003年チュラロンコン大学環境調査研究所長

2003年～2007年チュラロンコン大学理学部長

2007年～2010年タイ王立研究所副所長

2010年～タイ国独立環境・健康保護委員会委員長

1974年以降、水産養殖、水質汚染科学、水環境研究テクニック、漁業生物学
等を教える。

タイ王冠勲章勲一等（大十字騎士賞）、タイ白象勲章勲特等（大綬騎士章）受章。



《メモ》



公益財団法人国際エメックスセンター
International EMECS Center